

令和8年度道徳教育全体計画

<p>諸法規</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 	<p>校訓</p> <p>自主 協同 責任</p> <p>学校の教育目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の人間力の育成と高い進路目標を達成する学校 ・難関国公立大学受験に対応できる質の高い授業実践 ・グローバルリーダー育成のための探究学習及び教育DXによる学習支援と業務効率化 	<p>生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難関国公立大学への進学を強く希望する生徒が多い。 ・授業や教員に対する生徒の満足度は高いが、考査の難易度が高いと感じている生徒も一定数いる。 ・制限された施設環境下でも、9割以上の生徒が行事や部活動に熱意をもって取り組んでいる。 																		
<p>保護者の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに健全な若者の育成 ・自立した社会に有為な人材育成 ・難関大学入学を含む高い進路希望の実現 	<p>道徳教育重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な生活習慣を身につけ、規範意識を理解し、生き生きと生活する。 2 生命の尊さを知り、自他の生命を尊重する精神を養う。 3 相手の立場を尊重し、広い心であらゆる状況に対処できる精神を育てる。 4 礼儀を重んじ、社会性豊かな人間を育てる。 	<p>地域の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来社会に有為な人材に成長することを生徒に期待している。 ・高い規範意識を生徒に期待している。 																		
<p>各教科・科目</p> <table border="1"> <tr> <td>国語</td> <td>生徒が主体的に言葉への自覚を高めるための授業改善を図るとともに、言葉による見方・考え方を働かせ、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成する。</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>日本や世界の歴史・地理の学習を通じ、自国の理解や国際理解に役立たせ、公民分野では公民的資質を養う。</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>生徒の発達段階に応じた質の高い授業を展開するとともに、さらなる授業改善を図る。</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>自然に対する関心や探究心を高めるための授業改善を図るとともに、科学的に探究する能力と態度を育てる。</td> </tr> <tr> <td>音楽</td> <td>多様な表現活動を通して音楽における表現・鑑賞の楽しさを味わうことができる授業を展開し、生涯に渡って芸術を愛好する豊かな心情を育てる。</td> </tr> <tr> <td>美術</td> <td>多様な表現活動を通して美術における表現・鑑賞の楽しさを味わうことができる授業を展開し、生涯に渡って芸術を愛好する豊かな心情を育てる。</td> </tr> <tr> <td>保健体育</td> <td>運動や学習を通して、協調性を高め、仲間との関わりの中でそれぞれの力を伸ばす意識をもたせるように指導する。</td> </tr> <tr> <td>技術家庭</td> <td>生活の自立に必要な知識・技能を身に付け、生活や社会の課題を解決する力を育成するとともに、よりよい生活の実現に主体的・協働的に取り組む態度を養う。</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>分かりやすい授業を展開できるように授業を改善し、実践的コミュニケーション能力を養う。積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、英語の確かな基礎力を養う。</td> </tr> </table>	国語	生徒が主体的に言葉への自覚を高めるための授業改善を図るとともに、言葉による見方・考え方を働かせ、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成する。	社会	日本や世界の歴史・地理の学習を通じ、自国の理解や国際理解に役立たせ、公民分野では公民的資質を養う。	数学	生徒の発達段階に応じた質の高い授業を展開するとともに、さらなる授業改善を図る。	理科	自然に対する関心や探究心を高めるための授業改善を図るとともに、科学的に探究する能力と態度を育てる。	音楽	多様な表現活動を通して音楽における表現・鑑賞の楽しさを味わうことができる授業を展開し、生涯に渡って芸術を愛好する豊かな心情を育てる。	美術	多様な表現活動を通して美術における表現・鑑賞の楽しさを味わうことができる授業を展開し、生涯に渡って芸術を愛好する豊かな心情を育てる。	保健体育	運動や学習を通して、協調性を高め、仲間との関わりの中でそれぞれの力を伸ばす意識をもたせるように指導する。	技術家庭	生活の自立に必要な知識・技能を身に付け、生活や社会の課題を解決する力を育成するとともに、よりよい生活の実現に主体的・協働的に取り組む態度を養う。	外国語	分かりやすい授業を展開できるように授業を改善し、実践的コミュニケーション能力を養う。積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、英語の確かな基礎力を養う。	<p>各学年ごとの指導の重点</p> <p>1年</p> <p>基本的な生活習慣の定着を図り、自分で考え判断し、その行動に責任を持つ。</p> <p>【重点内容項目：A2 節度、節制】</p> <p>2年</p> <p>自らのよさを伸ばすとともに他者の立場を尊重し、ともに高め合う態度を育てる。</p> <p>【重点内容項目：B6 思いやり、感謝】</p> <p>3年</p> <p>正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会を実現しようとする意欲と態度を育てる。</p> <p>【重点内容項目：C11 公正、公平、社会主義】</p>	<p>特別活動</p> <p>道徳教育実践の基盤は学級にあるという認識のもと、折に触れて道徳教育の実践を図りながら、集団生活の中で他者と関わる力を付け、自発的な態度を養う。また、集団の一員としての自覚を深め、学校生活の充実と発展に努めようとする態度、様々な人との触れ合いを通して、よりよい人間関係の形成に資する態度も養う。</p> <p>総合的な学習の時間</p> <p>Global Learners Project (グローバルラーナーズプロジェクト) ~人とつながる・知とつながる・社会とつながる~</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題設定や課題解決のための思考力を養う。 ・人的ネットワークを構築する力を養う。 ・英語力とICT技術を養う。 ・幅広い視野を養う。 ・コミュニケーション能力を養う。
国語	生徒が主体的に言葉への自覚を高めるための授業改善を図るとともに、言葉による見方・考え方を働かせ、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成する。																			
社会	日本や世界の歴史・地理の学習を通じ、自国の理解や国際理解に役立たせ、公民分野では公民的資質を養う。																			
数学	生徒の発達段階に応じた質の高い授業を展開するとともに、さらなる授業改善を図る。																			
理科	自然に対する関心や探究心を高めるための授業改善を図るとともに、科学的に探究する能力と態度を育てる。																			
音楽	多様な表現活動を通して音楽における表現・鑑賞の楽しさを味わうことができる授業を展開し、生涯に渡って芸術を愛好する豊かな心情を育てる。																			
美術	多様な表現活動を通して美術における表現・鑑賞の楽しさを味わうことができる授業を展開し、生涯に渡って芸術を愛好する豊かな心情を育てる。																			
保健体育	運動や学習を通して、協調性を高め、仲間との関わりの中でそれぞれの力を伸ばす意識をもたせるように指導する。																			
技術家庭	生活の自立に必要な知識・技能を身に付け、生活や社会の課題を解決する力を育成するとともに、よりよい生活の実現に主体的・協働的に取り組む態度を養う。																			
外国語	分かりやすい授業を展開できるように授業を改善し、実践的コミュニケーション能力を養う。積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、英語の確かな基礎力を養う。																			
<p>特色ある教育活動や体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究学習プログラム ・キャリア教育プログラム ・東京グローバルゲートウェイでの英語研修(1年) ・プレ海外英語研修(2年) (プリティッシュヒルズ2泊3日) ・海外希望研修(3年) (シンガポール3泊5日) 	<p>学級・学校の環境の充実・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年全体で道徳教育に携わる体制作り (協同的な教材開発、ローテーションによる道徳授業) ・道徳ファイルの計画的、系統的な活用による生徒の振り返り及び評価への反映 ・総合的な学習の時間における「キャリア教育」との関わり ・ICT機器の活用 (学習用端末、電子黒板等) ・教科書と地域教材との関連 	<p>家庭・地域社会などとの連携</p> <p>中学校1年生から地域フィールドワークを行い、その際に、OB・OGをはじめ、大学教員や大学生、留学生などから協力の得られる環境を整える。</p> <p>また、フィードバックの機会を設け、地域の方や保護者の方に発信する。さらに、地元優良企業のバックアップ体制を充実していく。</p>																		